

アップサイクル
ワークショップ

着なくなった洋服でコースターをつくろう！！

アップサイクルとは

捨てられるはずのモノに、別の価値を持たせて、新しく生まれ変わらせること



アップサイクル・リサイクル・リメイク

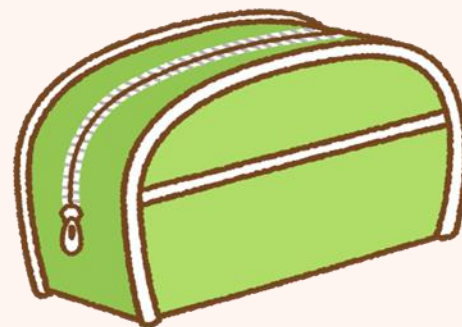
アップサイクル



リサイクル

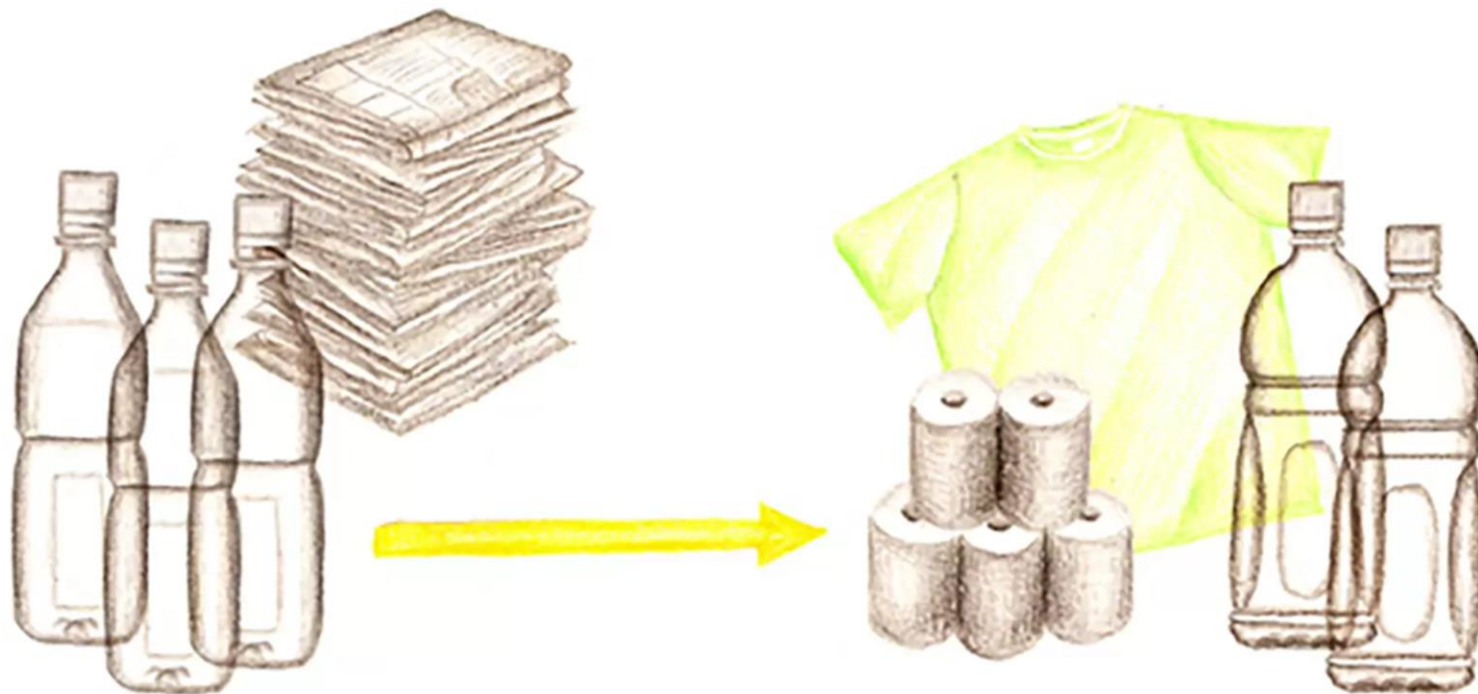


リメイク



リサイクルとは

原料に戻し、資源として再利用する



リメイクとは

別のものに作り替えるが
より価値が高いものにする必要はない



捨てられる洋服からコースターをつくろう！



①紐を3色選び、それぞれ1m測って裁断する



②3本の紐で三つ編みする

テープで固定すると
三つ編みしやすいよ！



③布で牛乳パックを包み込むように貼る

端の部分は
しっかり貼ろう！



④三つ編みをステップ③で作った土台に貼る

内側からぐるぐると
巻いていきましょう



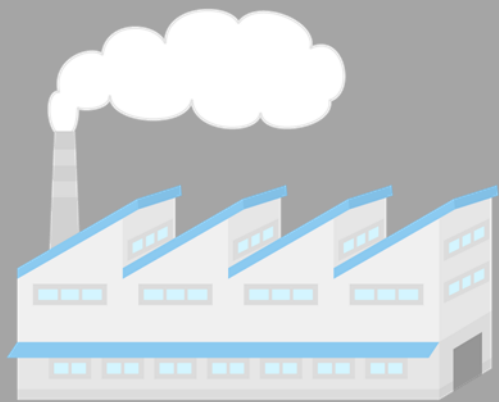
完成！



まとめ

洋服が作られるまでにかかる環境負荷

CO₂の大量排出



水の大量消費



端材などの排出

化学物質による水質汚染

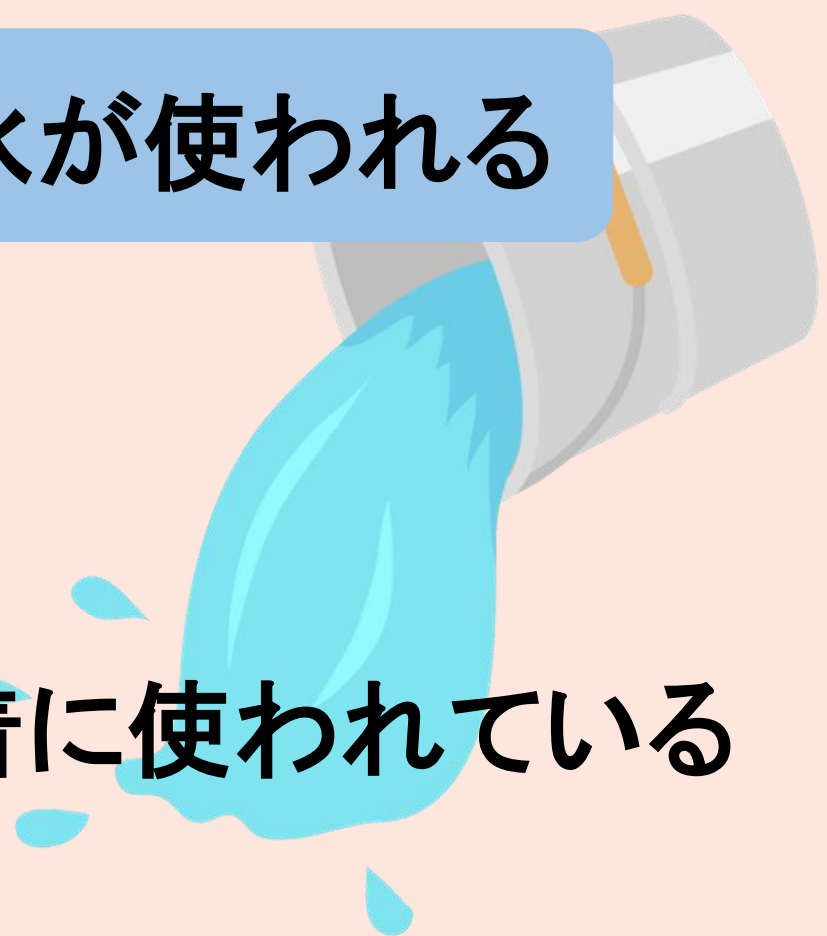
一着の洋服が作られるまでに ...

約2,300リットルの水が使われる



人間が生きるために必要な

920日分の水が一着に使われている



買われているが、着られていない服がたくさんある

1人あたり(年間平均)の衣服の消費・利用状況

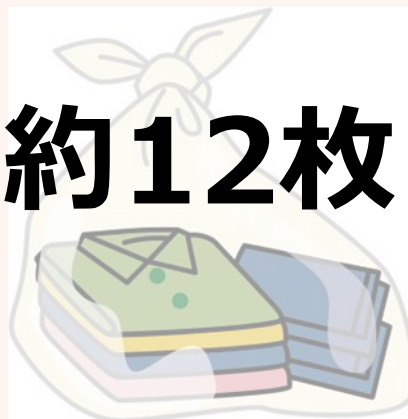
購入枚数

約18枚



手放す服

約12枚

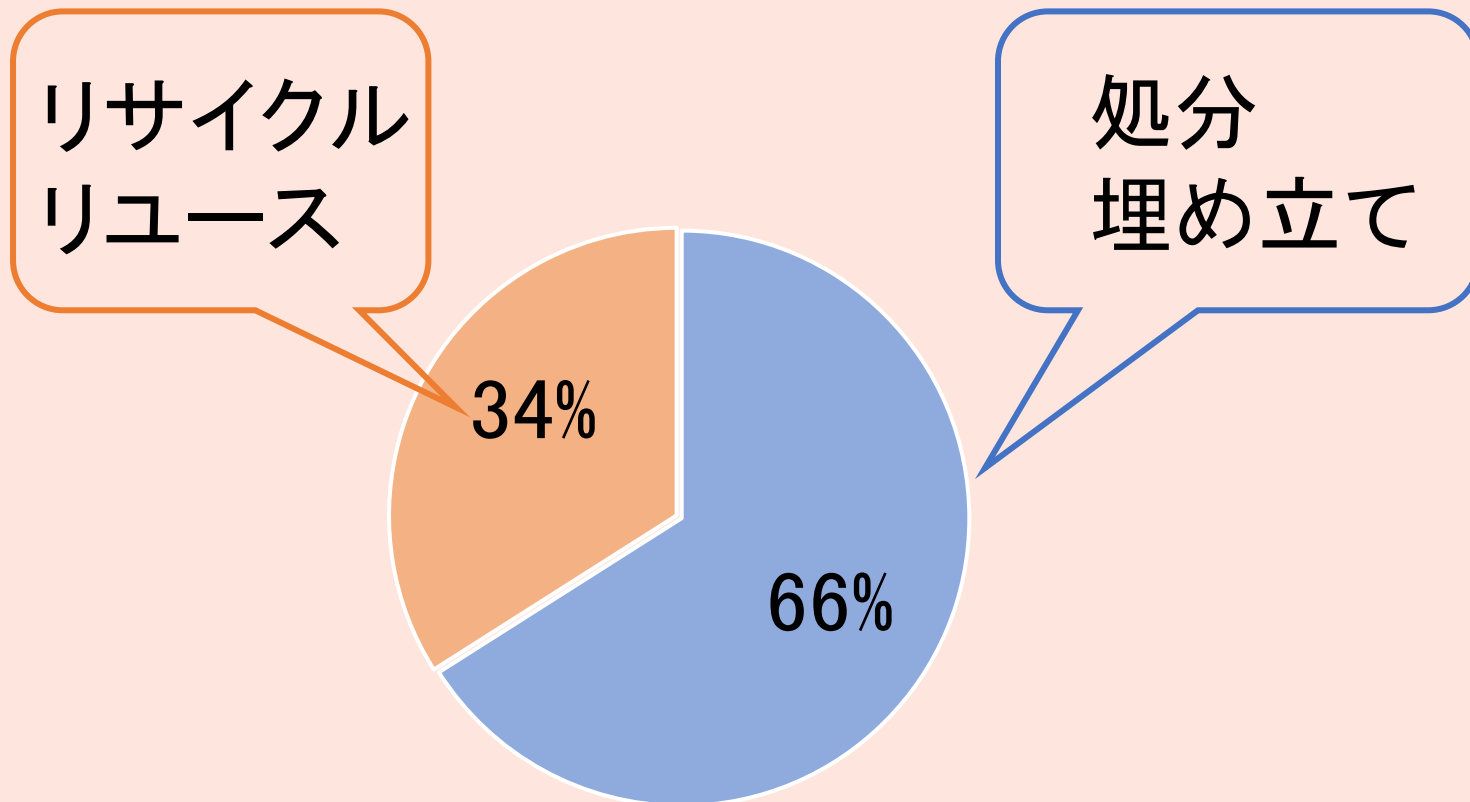


着用されない服

約35枚



手放された服は...



多くの資源やエネルギーを使ってつくられた服のほとんどは再利用されずに捨てられている

アップサイクルのメリット

ものを長く使えるようになる

新しい製品へとつくり変えることによって
製品としての寿命が延び、長く使用できるようになる

環境負荷を抑えられる

原料に戻す際の「溶かす」や埋め立てなどに必要な
エネルギーやコスト(お金・時間)が削減できる

SDGsとのつながり



つくる責任 つかう責任

ターゲット 12-5

2030年までに、**ごみ**が出ることを防いだり、**減ら**したり、**リサイクル・リユース**をして、**ごみ**の発生する量を大きく減らす。

最後に

サイズが合わない服やもう着ない服などで
家でもアップサイクルしてみてください！

